

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)

【公開番号】特開 2002-169183 (P2002-169183A)
 【公開日】平成 14 年 6 月 14 日 (2002.6.14)
 【出願番号】特願 2000-370174 (P2000-370174)
 【国際特許分類】

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

G 0 2 F 1/1337 (2006.01)

【F I】

G 0 2 F 1/1368

G 0 2 F 1/1337

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 6 日 (2006.2.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アレイ基板と、前記アレイ基板に対向配置された対向基板と、前記両基板間に配置された液晶層とを備えており、前記アレイ基板には、マトリクス状に配置された走査信号配線および映像信号配線と、前記走査信号配線と前記映像信号配線との交差部に設けられたスイッチング素子と、前記スイッチング素子に接続された画素電極と、前記画素電極に対向する位置に配置された対向電極とが設けられた液晶表示素子において、

前記画素電極および対向電極は屈曲部を有し、曲線部を前記屈曲部の一部に備えたことを特徴とする液晶表示素子。

【請求項 2】

前記画素電極および前記対向電極は屈曲部を有する線状電極であり、かつ、前記屈曲部の形状は円弧状である請求項 1に記載の液晶表示素子。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の液晶表示素子を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために、本発明の請求項 1 に係る液晶表示素子は、アレイ基板と、前記アレイ基板に対向配置された対向基板と、前記両基板間に配置された液晶層とを備えており、前記アレイ基板には、マトリクス状に配置された走査信号配線および映像信号配線と、前記走査信号配線と前記映像信号配線との交差部に設けられたスイッチング素子と、前記スイッチング素子に接続された画素電極と、前記画素電極に対向する位置に配置された対向電極とが設けられた液晶表示素子において、前記画素電極および対向電極は屈曲部を有し、曲線部を前記屈曲部の一部に備えたことを特徴としている。